

三次市教育委員会会議録

1 日 時 令和7年12月9日(火)

開会 10時00分

閉会 11時15分

2 会 場 三次市役所本館 3階会議室

3 出席委員 教 育 長 迫 田 隆 範

委 員 小 根 森 直 子

委 員 井 岡 直 美

委 員 藤 井 皇 治 郎

委 員 小 川 治 孝

4 出席職員 教 育 部 長 宮 脇 有 子

教 育 部 次 長 豊 田 庄 吾

教 育 企 画 課 長 渡 部 真 二

学 校 教 育 課 長 新 谷 勝 治

学 校 給 食 担 当 課 長 小 原 謙 二

社 会 教 育 課 長 山 西 正 晃

教 育 企 画 係 長 高 野 寛 久

教 育 企 画 課 主 事 平 奈 菜 巴

5 議事日程

(1) 議案第34号 令和7年度三次市学校運営協議会委員の任命について

6 協議事項

(1) 協議第2号 「学びの多様化学校」及び「小規模特認校」の設置について

迫田教育長 ただいまから、教育委員会会議を開催する。

はじめに、前回の教育委員会会議以降の状況について、2点報告する。

1点目は、12月市議会定例会についてである。

12月市議会定例会は、11月28日に開会し、12月12日までの予定で開会中である。12月1日から3日まで一般質問が行われ、16名の議員が質問に立たれた。教育委員会関係では、9名の議員から72件の質問があった。具体的な内容について、一部紹介する。

横光議員、新田議員、伊藤議員から、本市が設置を予定している小規模特認校についての質問があった。

本市の小規模特認校は、不登校傾向がある児童だけでなく、登校はしていても大きな集団での生活や学習に不安や居づらさを感じている児童や、少人数での生活のほうで自分を表現できると感じる児童、周りの友達とペースが異なる等で困り感を感じている児童等を対象とすることや、入学の判断については、(仮称)入校検討委員会の設置を予定していること等を説明している。山田議員からは、十日市小中学校改築事業について質問があった。新しい校舎への通学動線の安全性を確保することや子どもたちが安心して過ごせる施設となるよう関係者と協議して設計の工夫をすること等を説明している。増田議員、竹田議員からは、放課後児童クラブの民間委託と土曜日の運営について質問があった。民間委託及び土曜日の開所集約については、保護者や支援員への説明や意見交換を行っていること、また、各説明会等での意見を踏まえつつ、実施時期・内容については慎重に検討していくこと等を説明している。

2点目は、児童生徒の状況についてである。

11月29日に教育委員会の主催で「イングリッシュキャンプ」を開催した。今回は、市内中学校生徒を対象に行ったが、当日は24名の生徒が参加し、ALT11名が趣向を凝らして準備した参加型ゲームイベントで、英語によるコミュニケーションを通して楽しく過ごした。また、12月6日には子ども司書養成講座に参加した10名の小学生が、今年度の研修や活動のまとめを報告する発表会を開催した。研修したことを基にして、学校で

読み聞かせを行ったり, 図書室の図書整理を行ったりした取組をプレゼンし, 分かりやすく発表した。この他にも, 租税教育に関するコンクールや社会を明るくする運動作文, 文化連盟主催の俳句・短歌コンクール等, 市内のたくさんの児童生徒が表彰される機会が多くあった。

以上, 教育長報告とする。

迫田教育長 これから議事に移る。議案第 34 号は人事案件, 協議第 2 号は市議会に提出する案件のため, 公開になじまないものとする。

については, 三次市教育委員会会議規則第 14 条第 1 項の規定により, 議案第 34 号及び協議第 2 号は非公開が適当と考えるがいかがか。

委員一同 一異議なし

議案第 34 号 令和 7 年度三次市学校運営協議会委員の任命について
(人事案件のため非公開)

協議第 2 号 「学びの多様化学校」及び「小規模特認校」の設置について
(市議会に提出する案件のため非公開)

迫田教育長 以上で, 本日予定した議事等は全て終了した。
本日の教育委員会会議を終了する。

終了時間 11 時 15 分